



## 一般質問

4人の議員が町政について質問しました。

一般質問は、議員が町行政全般にわたり、町長を始めとする執行機関に対して行う質問のことです。

- \*藤井 満久 . . . 南知多町立小中学校適正規模・適正配置  
基本計画について問う
- \*森 宏子 . . . ふるさと納税について
- \*内田 保 . . . ワクチン接種とコロナ感染対策のために  
コロナ禍での滞納者への適切な対応を  
指定避難所での要配慮者の支援を
- \*榎戸 陵友 . . . 新統合校の開校を考える  
大井小学校の跡地利用について



# Q 要配慮対象者を福祉避難所へ受け入れる準備は

## A 今後、要配慮者の把握に努める



内田 保議員

### ワクチン接種と感染対策のために

**問** 子どもたちへの感染防止のため、保育

所・小中学校職員へのワクチンの早期接種が求められているが、2回完了した人数はどれだけか。また、教職員等に対し優先的な接種計画を策定し、実行することが必要ではないか。

**答** 大岩厚生部長

保育所職員は9月6日現在93人中69人、小中学校職員は8月27日現在160人中38人が接種している。教職員等は、エッセンシャルワーカーとして、キャンセル枠や余剰枠を活用し、順次接種を進めているので、優先的な接種計画の策定は考えていない。

**問** 町民の安心・安全を確保するため、町内にPCR検査場所を設置できないか。

**答** 大岩厚生部長

町単独での検査場所の設置については考えていない。民間の宅配検査や県内の病院での検査を活用していただきたい。

**問** コロナ禍で生理用品の購入も大変な家庭もある。「生理の貧困」対策として小中学校にトイレットペーパーと同じように生理用品の常備が必要と考えるがどうか。

**答** 鈴木教育部長  
各学校の保健室に生理用品を準備している。養護教諭が女子児童・生徒から相談を受け、家庭環境や悩みの把握に努めながら対応しており、現状ではこの体制が望ましいと考えている。

### コロナ禍での滞納者への適切な対応を

**問** 差押えに特化した滞納整理機構に頼らず、心の通った納税相談のため、生活支援・就労・納

税等の相談窓口を作る必要ではないか。

**答** 滝本総務部長  
町税の徴収は法令に基づき、適切に対応している。滞納者からの生活・就労支援の相談はよく話を聞き、担当課へ引き継ぎしている。件数が少ないので、相談窓口を作ることは考えていない。

### 指定福祉避難所での要配慮者の支援を

**問** 指定福祉避難所を一般避難所と分けて、受け入れ要配慮対象者と家族の公示が必要である。具体的にどのような準備されているか。

**答** 滝本総務部長  
福祉避難所を指定し受け入れ対象者を公示するため、対象者を把握し福祉避難所ごとに対象者の調整、施設の整備などが求められる。まずは要配慮者の把握に努める。

**問** 指定避難所の相談窓口や運営責任者に、女性は配置されているか。

**答** 滝本総務部長  
県の避難所運営マニュアルには運営委員会に女性を入れることを原則としている。自主防災会等と連携し、女性の登用など多様な立場の意見が反映されるよう努めていく。

